



ID: 1201

科目名	社会的養護内容【26年度生用】			コード			
英語表記	Content of social care						
担当教員名	梅木 幹司			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期		単位数		
授業形態	演習	授業形式			履修形態		
1							
選択							
授業概要							
社会的養護についての現状と課題の理解を促し、実践場面における保育士の役割や倫理、または保育士に必要な知識や技術が習得できるように演習を通じて進めることとする。また事例分析を通じて社会的養護に必要な支援を考察する。何よりも児童の権利擁護については、この授業での中心的課題としたい。							
到達目標							
・社会的養護における児童の権利擁護について理解する。・社会的養護における保育士や関連職種に必要な倫理について理解する。・支援計画を作成することができる。・社会的養護にかかわる専門職が必要とする知識・技術の必要性を理解する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション ～授業の進め方の説明、社会的養護とは？～						
第2回	社会的養護における児童の権利擁護 ～児童の権利と児童の権利擁護～						
第3回	社会的養護における保育士等の倫理及び責務 ～保育士および関連職種に必要な倫理及び責務～						
第4回	社会的養護の実施体系Ⅰ ～施設養護の特性及び実際～						
第5回	社会的養護の実施体系Ⅱ ～里親制度の特性及び実際～						
第6回	支援計画の作成 ～個別支援計画の意義と作成～						
第7回	事例分析Ⅰ ～日常生活支援に関する事例分析～						
第8回	事例分析Ⅱ ～治療的支援に関する事例分析～						
第9回	事例分析Ⅲ ～自立支援に関する事例分析～						
第10回	記録及び自己評価						
第11回	専門的技術と知識Ⅰ ～保育士の専門性にかかわる知識・技術とその応用～						
第12回	専門的技術と知識Ⅱ ～ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用～						
第13回	施設の小規模化と地域とのかかわり						
第14回	社会的養護の課題と展望						
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
演習科目であるため、出席については当然のこととし、授業態度、積極的な発言、課題レポート、期末試験により総合的に評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20%	30%	40%	10%
授業外学習			テキスト、教材				
			毎回、資料については配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
必要に応じて適宜紹介する。			保育士必修科目。演習科目であるため、積極的な授業参画をすること。				
キーワード							
社会的養護 権利擁護 事例分析 支援計画 ソーシャルワーク							